



多和田眞教授

多和田眞教授の退職記念号に寄せて

多和田先生は、令和3年3月をもって本学経済学部を退職されました。多和田先生は、昭和46年3月に名古屋市立大学経済学部を卒業され、同53年3月に同大学大学院経済学研究科博士後期課程を単位取得のうえ退学されました。その後 New South Wales 大学大学院経済学研究科博士課程に進まれ、同55年9月に Ph. D（経済学）の学位を取得されるとともに、同課程を修了されました。帰国後、東京都立大学経済学部、神戸商科大学（現・兵庫県立大学）商経学部、名古屋市立大学経済学部、および名古屋大学経済学部において教鞭を執られ、平成25年4月より愛知学院大学経済学部に教授として着任されました。

多和田先生は、国際経済学の分野で名声を博されており、とくに国際貿易における一般均衡モデルの安定性に関する調整過程の研究や、同モデルに収穫逓増、公共中間財、天然資源などを導入した拡張的な理論的分析は内外で高く評価されています。

教育面では、国際経済学や経済原論などの授業を担当され、情熱的で懇切丁寧な授業を慕って多くの学生が専門演習に集まりました。また、斯学の権威である先生のもとには、大学院生も集まり、休暇を返上してまでも指導され、誰ひとり脱落することなく、立派に巣立っていきました。先生の人格をはじめ、積年にもとづく教育に対する優れた技量には感服いたします。さらには、教育面以外にも、日本経済学会、日本国際経済学会、日本地域学会や行政機関における審議会において重職をこなされ、その精力的な社会的活動には眼を見張るものがあります。

私とのかかわりでいえば、当初、本学経済学部には大学院が設置されていなかったため、多和田先生に陣頭に立っていただき、その設置に向けての軽少なお手伝いできたことです。先生の疾風迅雷の功業により、平成29年度に大学院経済学研究科修士課程は無事に誕生するにいたり、初代・大学院経済学研究科長に就任されました。

本学経済学部はその設置から10年目を迎えました。多和田先生は、まさに本学の経済学部および大学院経済学研究科の基盤を充実させるべき重要な時期に在職され、教育、研究、学内行政など、さまざまな面において労してくださいました。厳しさをます大学教育環境のもとで、私どもは先学より築きあげていただいた成果を守成し、さらなる飛躍を遂げてまいりたいと思います。

ここに多和田先生の退職記念号を刊行させていただき、先生のご功績を讃えるとともに、これまでの幾多のご尽力に深謝いたします。

令和4年2月

経済学部長 吉田雅彦